



第22回日本心臓リハビリテーション学会学術集会
NPO 法人ジャパンハートクラブ共催



教育セッション2

やってみよう！ 心肺運動負荷試験

基礎編



日時

2016年7月17日(日)

9:00~10:30

会場

東京国際フォーラム

第2会場:Bブロック7階 ホールB7-1

座長

沖田孝一

北翔大学 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科

岡岳文

津山中央病院 循環器内科

演者

**心肺運動負荷試験の実際と解釈：
呼気ガス所見をどう読むか？**

田嶋明彦

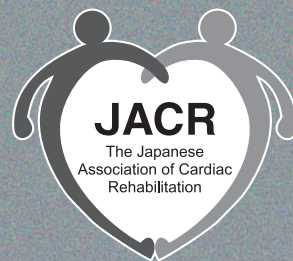
埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科

**心肺運動負荷試験の活用：
Basic and Current Applications**

窪菌琢郎

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学





やってみよう！ 心肺運動負荷試験



基礎編

座長のことば

沖田孝一

北翔大学 生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科

岡 岳文

津山中央病院 循環器内科

今日、心肺運動負荷試験 (Cardiopulmonary Exercise Test: CPX) は、患者の労作時息切れ、疲労の診断や運動耐容能の評価等に用いられている。従来の運動負荷心電図検査は、冠動脈疾患に焦点が置かれており、心臓、肺、肺血管、末梢血管および骨格筋など運動耐容能に影響する多様な系を評価するには不十分であったが、CPXから付加的に得られる呼気ガス分析データは、より正確な病態診断、重症度およびその変化、治療への反応性、予後进行评估する上で極めて有用な情報となる。この教育セッションでは、CPXの基礎と最新の応用方法として、心不全における特有の指標と解釈、心リハにおける活用および術前リスク評価等について、また現在までに明らかにされている生命および疾患予後に関するエビデンスについて、第一線で活躍する専門家からご紹介していただく。